

ジェットスター・アジア航空、年末年始休暇を見据え 沖縄(那覇)＝シンガポール線を増便

- 観光地としての沖縄の認知度向上を受け、沖縄(那覇)＝シンガポール線を増便
- 2018年11月15日より週3便(往復)から週4便(往復)に増便
- 片道17,600円にて販売中

ジェットスター・アジア航空(本社:シンガポール、CEO:バラタン・パスパティ、以下、ジェットスター・アジア)は本日、年末年始休暇時期の需要の伸びに応えるため、沖縄(那覇)＝シンガポール線の増便を発表しました。

今回、繁忙期の年末年始の休暇時期が始まる2018年11月15日より沖縄(那覇)＝シンガポール線が増便されることとなります。

昨年11月の沖縄(那覇)＝シンガポール線の就航以来、ジェットスターは数万人ものお客様にご搭乗いただきました。この短期間で増便を決定することは、シンガポール内外のお客様にとって沖縄が人気のある観光地になりつつある証拠です。

ジェットスター・アジアのCEO バラタン・パスパティは、今回の増便にあたり次のように述べています。

「今回の増便は年末年始休暇を見据え、初便はシンガポール現地時間木曜午前2時発、沖縄に午前8時に到着します。また、沖縄からは午前9時発、シンガポールには午後1時25分に到着します。私たちは、家族にとって休暇期間中に手頃な運賃で旅行できることが、いかに重要であるかを理解しています。また、追加サービス、および特別な機内サービスを提供することで付加価値を提供できるとも考えています。シンガポールに住む私たちのお客様から寄せられる感想から、沖縄がいかにユニークな観光地であるかがわかります。沖縄の文化や料理に限らず、石垣島を初めとする八重山諸島でのシュノーケリング、ダイビング、海中散歩やその他の海のアクティビティに関心を寄せ、再訪したいという声が届いています。那覇＝シンガポール線就航2年目に突入するにあたり私たちは、四季を問わず楽しめる観光地としての沖縄の魅力を伝えるべく、沖縄県庁、沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)、および旅行業界のパートナーらと引き続き緊密に連携をとってまいります。」

沖縄県庁 嘉手苺孝夫 文化観光スポーツ部長は今回の増便の発表を受けて、沖縄県庁は、シンガポールにおける観光地としての沖縄の知名度の向上、および日本人が東南アジアを訪れる際の中継地点として機能することを素晴らしいことと考え、以下のとおり述べています。

「沖縄の知名度向上に貢献いただいているジェットスター・アジアおよび旅行業界の皆様には深く感謝申し上げます。今回の増便により、中継地点としての沖縄の利便性は向上し、那覇国際空港の訪日外国人観光客のハブ拠点となるという目標へ向けて前進することが可能となります。」

沖縄(那覇)発の航空券はジェットスターの公式ウェブサイト

(<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>)にてご購入いただけます。片道17,600円からとなります。



ジェットスター・アジアは現在、沖縄(那覇)・大阪を含め日本向けに週 23 便(往復)運航しています。また、ジェットスター・ジャパンは東京・名古屋・大阪発、沖縄(那覇)行きを 1 日最大 9 便(往復)運航しています。

■沖縄(那覇)＝シンガポール線 運航スケジュール

便名	路線	運航曜日	定刻(現地時間)
3K791	シンガポール－沖縄(那覇)	月、水、木、金	02:00 発 08:00 着
3K792	沖縄(那覇)－シンガポール	月、水、木、金	09:00 発 13:25 着

ジェットスター・アジア航空について

2004 年 12 月に就航したジェットスター・アジアは、アジア太平洋地域の 13ヶ国および地域 27 都市に就航し、週 600 便以上運航しています。2017 年に OAG より定時運航率ランキングで第 8 位、AirlineRatings.com より世界で安全な LCC 上位 10 社に選ばれています。